

# 煙火消費中の事故にご注意ください！

花火の性質や危険性を十分確認した上、許可条件や取扱注意事項を厳守し、**事故のないよう細心の注意**をお願いします。

## ★事前の確認で安全で楽しい花火を★

### ！！ 打ち上げ前の確認 !!

チェック

- 煙火（小型煙火）は、打ち上げの衝撃で倒れないよう、ブロック、土のう等で、一つ一つしっかり固定すること。
- 暴発、横飛びに備え、必要に応じて打ち上げ場所をベニア等で囲うこと。
- 消火用の水バケツ等を用意しておくこと。
- 保安距離内は、立入禁止区域です。カラーコーン、ロープ等で区画し、警戒員を配置すること。

保安距離は最低限必要な距離です。風向き・風速や周囲の状況に応じて拡大しましょう。また、不発花火（「黒玉」といいます）は通常の花火より遠くに落下する恐れがあります。

### ！！ 打ち上げ時の確認 !!

チェック

- 打ち上げ者は、火傷防止のため綿製の長袖長ズボン、ヘルメットを着用すること。
- 点火は、1台ずつ行うこと、また、点火後は20m以上離れること。
- 火の粉等による誘発を防ぐため、使用前の小型煙火は、防災シート等で覆うこと。
- 風向、風速に注意し、風下には観客がいないように配慮すること。また、強風の場合は中止すること。

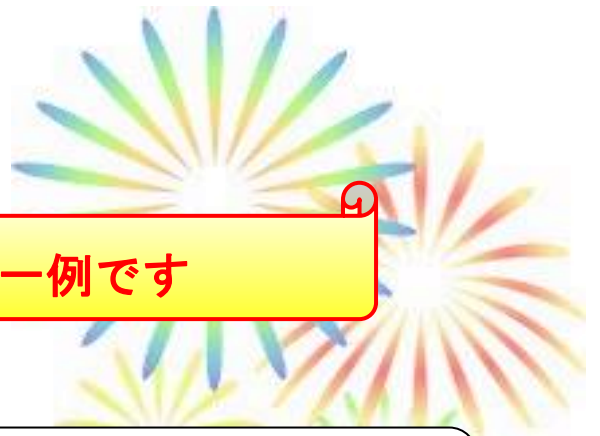
風向き・風速等により保安距離外であっても花火の火の粉や燃えかす等が落ちてくる可能性があります。主催者の方は観客の方々に注意を促しましょう。

### ！！ 打ち上げ後の確認 !!

チェック

- 使用済みの煙火（小型煙火）は、真上からは絶対に覗き見ないこと。
- 煙火使用後の煙火（小型煙火）は、多量の水で消火すること。（絶対に燃やさない！）
- 不発があった場合は、速やかに回収して水に浸し、販売店に連絡すること。
- 周囲への延焼がないことを確認すること。

不発花火を発見した場合は、応急措置として大量の水に浸し、販売店に連絡して下さい。



## 安全対策の一例です

コンクリートブロック  
で箱を固定しています。



観客への安全を配慮して暴  
発、横飛び対策と消火準備  
をしています。



## 最後にもう一度確認しましょう！



- ・ 保安距離は**安全確保のための最低限必要な距離**です。  
(全国では、保安距離を超えて落下した花火や黒玉、残渣（カスなど）により負傷者も発生しています！)
- ・ 風向きや強さにより立入禁止エリアを拡大して下さい。
- ・ 必要により警備員の増員をして下さい。
- ・ **安全が確保できない場合は延期や中止の判断も必要です。**
- ・ 不発煙火（黒玉）の発生があり得ます。
- ・ 打上玉に紐をつけることにより方向性が安定します。
- ・ 市内でも過去に負傷者を伴う事故が発生しています。